

藤井石童氏

十月來布

大日本海外移住史
布哇篇印刷中

AUG 28 1937

大阪の石童藤井秀五郎氏よ
 りの來書に豫て同氏の編纂
 中なりし『大日本海外移住
 史第一篇布哇』は漸く脱稿
 目下印刷中の由にて右は今
 回設立の海外調査會の發行
 となりをり、來る十月藤井
 氏自ら携へて來布すべく、
 布哇より桑港、羅府に赴き
 年内に歸朝の豫定だそらで
 ある

負傷者

爆^{ばく}れ 支^しれ

下^{くだ}ン 撃^げき 日^{にち}四^よ

十^{じゅう}十^{じゅう}

ランス租界そかいのアユ・ジヨ
ルあたりまで行き、そこで
打倒うちたほれたもの數知かずしれず

十五日は 全く打

れられてゐたこれらの悲ひな死體したいが續々ぞくぞくと發見はっけんされ、

またカセイ・ホテル、バ

ス・ホテルの上海一流しやうりゅうホ

ルに泊つてゐた外人がいじんで遭

した重傷者じゆうじやうしやが病院びやういんで絶命ぜつめい

たもの數十名すうじゅうなに達する模

で、空爆くうばくの恐怖こふは上海在切

外人がいじんに非常ひじょうな衝動しょうどうを與あたへ南

京政府きんせいに對たいする非難ひなんが囂ごう

る情勢じやうせいである

P361.002JA